第5章　産業･経済　第3節　工業

所属名称	事務事業名称	事業概要（全体）	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題･取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績（H29）	成果指標			総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの
産業振興課	実施計画ランク 重要 地域資源活用･ものづくり総合支援補助事業 期間 H25年度～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 地域資源活用･ものづくり総合支援補助金交付要綱 事業の目的及び具体的な内容 市内の製造業者や農業者等の経営基盤の強化と地域経済の活性化を図るため、市内事業者が連携し、新商品やサービスの開発及び新たな販路の開拓等を行う際に、その経費の一部を補助するもの。	一般	H28予算現額 2,000千円 H29予算現額 2,000千円 H28正規職員人件費 0.43 人 3,687千円 H29正規職員人件費 0.31 人 2,630千円 H28決算額 920千円 H29決算額（見込み） 1,525千円 H28その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 臨時職員 0.00 人 H29その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 臨時職員 0.00 人	項目名 ①補助金交付件数 ②補助金交付金額 実績 ①11件 ②1,525千円	指標名 補助金交付件数（商工会議所取りまとめ分除く） H28年度目標 3件 H29年度目標 3件 H30年度目標 3件 H28実績 3件 H29実績 3件	目標設定の考え方･根拠 前年と同様の件数を目指す。 H29目標値が未達成の理由･分析 目標達成済	A	成果指標の目標を達成しており、一定の成果が挙げられていると考えられる。 評価者 産業振興課長　青木　邦雄	H29年度に改善した点 事業者やビジョン策定委員等からの意見を参考に、地域経済を牽引する事業者の取組みを支援する制度に改正した（連携要件の一部緩和、補助率の増加及び審査の実施が主な変更点）。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み H30年度より新制度となるため、事業者への周知が課題となる。	無	無
産業振興課	実施計画ランク 重要 所沢人形協会補助金 期間 S61年度～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 所沢市商工業団体補助金交付要綱 事業の目的及び具体的な内容 所沢におけるもっとも有名な地場産業である人形工芸の保護･育成を図ることを目的とし、経常的経費の補助を行う。 （団体における実施事業） ①年に1度、所沢神明社において人形供養祭を実施 ②埼玉伝統工芸会館において、押絵羽子板･ひな人形の手作り実演を実施 ③市庁舎や野老澤町造商店において作品を展示	一般	H28予算現額 60千円 H29予算現額 60千円 H28正規職員人件費 0.07 人 600千円 H29正規職員人件費 0.09 人 764千円 H28決算額 60千円 H29決算額（見込み） 60千円 H28その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 臨時職員 0.00 人 H29その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 臨時職員 0.00 人	項目名 ①人形供養祭参加者数 ②構成団体数 ③構成団体数のうち市内団体数 実績 ①230人 ②15団体 ③8団体	指標名 活性化事業回数　展示会･実演会などの回数 H28年度目標 8回 H29年度目標 8回 H30年度目標 8回 H28実績 8回 H29実績 8回	目標設定の考え方･根拠 展示会･実演会の開催日数により、地場産業としてのＰＲを実施できているかを示す。 H29目標値が未達成の理由･分析 目標達成済	A	成果指標の目標を達成しており、一定の成果が挙げられていると考えられる。 評価者 産業振興課長　青木　邦雄	H29年度に改善した点 特になし。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 構成団体の高齢化による事業規模の縮小が懸念される。 今後については、現状を維持しつつ、引き続き、認知度を高める支援をしていく必要がある。	無	無
産業振興課	実施計画ランク 最優先 住宅リフォーム資金補助事業 期間 H23年度～	事業の種別 ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加 根拠法令 所沢市住宅リフォーム資金補助金交付要綱、所沢市三世代同居等リフォーム資金補助金交付要綱 事業の目的及び具体的な内容 ･地域経済の活性化と市民の居住環境の向上を目的として、市内の施工業者を利用して住宅リフォームを行う場合にその経費の一部を補助する。 ･三世代同居を推進することによる高齢者の孤立防止や子育て支援、ひいては家族の絆の再生と定住促進を図ることを目的として、市内の施工業者を利用して三世代同居のために住宅のリフォームを行う場合にその経費の一部を補助する。	一般	H28予算現額 10,000千円 H29予算現額 10,000千円 H28正規職員人件費 0.58 人 4,974 千円 H29正規職員人件費 0.49 人 4,158千円 H28決算額 8,949千円 H29決算額（見込み） 9,667千円 H28その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 臨時職員 0.00 人 H29その他職員従事割合 非常勤特別職 0.00 人 臨時職員 0.00 人	項目名 ①補助金交付件数 ②補助金交付金額 実績 ①100件（19件） （）内は三世代分 ②6,752千円（2,915千円） （）内は三世代分	指標名 対象工事額 H28年度目標 180,000千円 H29年度目標 180,000千円 H30年度目標 180,000千円 H28実績 188,531千円 H29実績 199,452千円	目標設定の考え方･根拠 当事業を行うことによる住宅産業等をはじめとした建設業への経済波及効果 H29目標値が未達成の理由･分析 目標達成済	B	住宅リフォーム資金補助事業、三世代同居等リフォーム資金補助事業ともに市民の需要と業者の要望は高いが、補助金の必要性と効果を見極める必要があるため。 評価者 産業振興課長　青木　邦雄	H29年度に改善した点 住宅リフォーム資金補助金、三世代同居等リフォーム資金補助事業とも、一層の周知を図った。広報･ホームページへの掲載、市内公共施設へのチラシの配架に加え、記者クラブへの情報提供、金融機関へのチラシの配架等を行った。 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み 所沢市が推進するマチごとエコタウン所沢構想に基づく「スマートエネルギー補助金」のエコリフォーム事業との整合性や事業推進を検討する必要がある。	無	無